

2023 7/11

No.2190

毎月第2・第4火曜日発行

# 政経 かながわ

一般社団法人  
— 神奈川政経懇話会 —



ベイスターズ史上初の交流戦優勝を記念して6月25日、横浜スタジアム（横浜市中区）で表彰式が行われ、チームと優秀選手賞の牧選手に賞金ボードなどが贈られた。



## contents

|                                      |    |
|--------------------------------------|----|
| 視点点描                                 | 3  |
| どう伝える？災害リスク                          |    |
| 特 集                                  | 4  |
| マイナンバーカードトラブル<br>なぜ続くのか<br>`安全装置、整備を |    |
| 政治双眼鏡                                | 8  |
| 解散騒動、岸田首相が演出か<br>秋に向けて人事・政策・公明党共闘    |    |
| 経済双眼鏡                                | 9  |
| 財界を引っ張る三菱・住友<br>経団連、低賃金水準に危機感も       |    |
| よんななエコノミー                            | 10 |
| 「インバウンド」は歓迎されているか？                   |    |
| 蝶花楼桃花のNEWS箸休め                        | 11 |
| メンタルトレーニング                           |    |
| 暮らし2023                              | 12 |
| 高齢化で増える「心不全」<br>心臓リハビリが重要            |    |
| かながわTODAY                            | 14 |
| 6月の主な経済ニュース                          |    |

### 事務局だより

◇2023年8月の見学・講演会  
8月25日(金)午後1時半～3時

eスポーツ高等学院ヨコハマ  
eスタジアムの見学と講演  
(横浜市中区太田町、横浜MBCビル)

◇2023年9月の講演会  
9月8日(金)午後1時半～3時  
メルヴェーユ「ヴァランセ」  
(横浜市中区桜木町)

講師：Kアリーナマネジメン  
ト社長  
田村 剛氏

◇2023年10月の講演会  
10月12日(木)午後1時半～3時

ロイヤルホールヨコハマ(横  
浜市中区山下町)  
講師：駐横浜大韓民国総領事  
金 玉彩氏

※年末のシンポジウム「2024  
年の動向を読む」は12月15日  
(金)午前11時からの予定です。

# 視点 点描



## どう伝える？災害リスク

ウェブサイトやアプリで赤や紫の帯状の雨域が表示されたら、それは危険のサインだ。

赤は1時間50ミ以上の「激しい雨」、紫は1時間80ミ以上の「猛烈な雨」を意味する。それらが自分の今いる場所に表示され続けたら、避難所へ向かう行為はむしろ命を危険にさらす。徒歩はもちろん、車であっても身動きが取れな

くなり、最悪の場合、車ごと流される恐れすらある。

近年、大雨に関するニュースでよく登場するようになった「線状降水帯」。本来は短時間で消滅するはずの積乱雲が列をなし、同じ場所に停滞することによって、数百ミに上る局地的な豪雨をもたらす厄介な現象だ。

そうした事態に直面する前に避

難しておくことが望ましいが、大雨のたびに実践することは容易ではない。せめて事前に予想があればと思う向きは少なくないだろうが、気象庁のサイトでは線状降水帯について、こう説明している。

「線状降水帯の発生条件や強化、維持するメカニズムは未解明な点が多く、正確な予想が難しくなっています」

それでも気象庁は昨年から、線状降水帯の予測情報の運用に踏み切った。発生が見込まれるエリアを絞り込むことはできず、関東甲信地方といった広い範囲で半日程度前に注意喚起するという内容に過ぎないが、「線状降水帯」というキーワードを示すことで、迅速な避難行動や安全確保につながる効果を期待している。そのため、ニュースで登場する頻度が増しているのだ。

さらに、鍵を握る大気中の水蒸

気量を把握する船舶での観測、スーパーコンピューターを活用した予報技術の高度化などに取り組み、予測精度の向上、情報の改善を目指している。つまり、完成形の情報ではない。

近年のICT（情報通信技術）の進化とスマートフォンの普及により、身近に迫る危険の情報を手元で受け取れるようになったメリットは大きい。しかし、多様化・複雑化する内容に受け手の理解が追いついておらず、重要な情報が埋没しかねないとの懸念もある。逆に、具体的な指南がないと行動しない「指示待ち」の弊害を生むとも指摘されている。

予想が外れる場合もあるリスク情報をどう伝えていくか。サイトで発信する情報の比重が増した新聞社にとっても悩ましい問題だ。

（神奈川新聞社報道部

地域報道統括部長・渡辺 渉）